

児童発達支援自己評価表結果(公表)

公表:令和 3年 3月 18日

事業所名 こどもアシスト「ぼの」東福山教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|----|--|----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | 2部屋分の個室がある。コロナ対策としてもう少し空間を広げたい。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 毎日の掃除と授業終了ごとに消毒・除菌を徹底している。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 行動に至るまでのプロセスを考慮しながら療育に取り組んでいる。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | フィードバックを毎回行い、保護者のニーズとお子様の様子を合わせて療育内容の検討を行っている。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 研修の機会がさらに必要。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | どこまでできてどこまで進んでいないかを自己評価し、学習の進み具合を考慮している。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | どの職員でも対応できるように情報交換している。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | コマごとにPDCAサイクルを行い、検討している。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 完全個別で1対1で行っている。コロナが落ち着いたら、年に数回は小集団で取り組む機会を作っていきたい。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|--------------------------|--|---|----|-----|---|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 前回の授業内容を受けての今回の授業内容ということで打ち合わせを行っている。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 課題点、できたことを共有し、療育内容を検討している。引き続き、しっかいとした連携が必要である。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 授業の内容、こどもの様子、アセスメント内容を記録している。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | 今後は、更に関係機関との連携を密にしていきたい。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | 対象児童がいないため未実施。今後検討していく。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 学校と連携をとり、学校での課題を把握したうえで療育内容の計画を立てている。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 更に連携を深めていきたい。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | 必要だと思うため、今後行っていきたい。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 毎日保護者へ授業の内容をフィードバックし、情報共有を行っている。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | ○ | 保護者対象の研修会を今後実施していく予定。 |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | |
| 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|------------|----|--|----|-----|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 授業後の毎回のフィードバック、欠席時の連絡などでこどもの様子を確認している。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | 保護者会の開催を計画し、実施していく。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | | ○ | 十分注意をしているが、更に注意をしていく |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 保護者と連携し、同意を得て、情報を個人のファイルに保存し、職員間で情報を共有している。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 実際に起こったことに対しては作成しているが、想定される内容の事例集の作成にまで至っていない。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 研修に参加している。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 こどもアシスト「ぼの」東福山教室 保護者等数(児童数) 4 回収数 4 割合 100%

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|----------------------------------|--|----|---------------|-----|-----------|-----|----------------------------|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている | 4 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切である | 3 | | | 1 | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 4 | | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている | 4 | | | | | |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4 | | | | | |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | | | | | |
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている | 4 | | | | | |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | | | 4 | | 今後、交流の機会を作り連携を図る取り組みを行っていく |
| 適切な 支援の 提供 | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた | 4 | | | | | |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた | 4 | | | | | |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている | 2 | | | 2 | | |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 4 | | | | | |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている | 3 | 1 | | | | |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている | 1 | | | 3 | | 今後は父母の会など保護者連携を強化していく。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている | 4 | | | | | |
| 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている | 4 | | | | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|-----------|-----|---------------------------------------|
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている | 2 | | | 2 | | 「ぼの」通信を月に1回配布しているが、今後はHPへの掲載を進めていきたい。 |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されている | 4 | | | | | |
| 非常時等の 対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている | 4 | | | | | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている | | | | 4 | | 職員の防災訓練をお子様とともに 行う機会を作っていく。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしている | 4 | | | | | |
| | 23 | 事業所の支援に満足している | 4 | | | | | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。